



平成29年度 盛岡誠桜高等学校
国際教育事業報告書

 **New Zealand**



Morioka Seio High School
**Education of
International
Understanding
2017-2018**





with host family

with Issy at school



Kirigami at school



Martin Girls in the bush



Farewell Speech



On Wednesday, I went camp in Masterton by train with Year 10 student. I ate apple crumble and hamburger and icecream and hotdog and potato and sausage and wraps. Then I did surfing very very ride. It is a like Tokyo Disneyland attraction. Last, I did water slider.

Yuko Fujio

Wellington空港で。
初日にファミリー。



ホームステイの
私の部屋



ホストファミリー。 齋藤玲弥

ホームステイの
私の部屋



ホストファミリー。
上野 藍



Wellington空港で。
初日にファミリー。



出発日の1月5日。盛岡駅にて。

Yuko Fujio

About my study trip in New Zealand

with Jupiter

Last year I took an airplane and went to NZ. It was already the next day when I arrived. After finishing my 9-hour flight, I went to the OKC office with the adviser and I thought that I could rest at last. But I was very nervous when I was told that I was going to see my host family then. But when I saw them and saw their smiles and they said welcome to me, I was relieved with wonder. They listened to my introduction until the end without making me feel bad, even though it took time to talk about myself. A Japanese friend that I met later said that she had to change families because she felt she could not say what she wanted to say. So I felt very lucky.

When the language school was over and I decided to go to school, I was speaking in English that was not perfect. I was thoughtfully trying to speak English. I wanted to speak perfectly. But I cannot forget that when the language school teacher was listening to my stories she had a stern face. Having classmates with totally different skin color and hair color talk to me was interesting. But the only word I could return was "yes" or "no".

In my free time I was talking with Japanese friends from the same class all the time. I would ignore the pointed stare of the classmates who could not speak Japanese. That was when I wondered if I could really get by when my words would not reach others. Even though my classmates joked in class every day and laughed happily, I did not know why they were laughing. I just forced a smile. At that time, I felt like I was not just alone in school but I was alone in the whole country.

But there was a girl who was kind to me. She talked to me every day, she always asked about me to me another girl who was also kind to me. When we

spoke, she always asked "Are you ok?". So I felt that she thought that I was strange, and I got mad at her. But the words that out of my mouth were not English. I got even more depressed and tried not to talk much so that I would not hurt her feelings any more. But later I heard that the girl didn't think I was strange, she was really just concerned that I seemed lonely,

I was convinced that not only were people were giving up on trying to get along with me, but that I was giving up on my own. That girl was not just worried and gentle because I could not speak English, she was trying be friends. Because I hadn't noticed this earlier, I got angry with myself. At the same time, I was determined not to stare at the calendar waiting for my return date. But things started to get better. One day my friend told a teacher that he might look like my mother. I joked that my mum does not have a beard and my friend laughed. I was so happy. I also started to read books written in English. Although they were still books from the lower levels of elementary school, when I was able to remember a new word from a book and use it, I became confident about my English ability and this furthered my motivation.

When Halloween came to an end, the day when we were to go back to Japan come closer. My friend who gave me the opportunity to make friends gave me encouragement about being able to see my parents soon. I tried not to show a lonely face or say that I was sad to return. On the day before I returned home, when I had the last hug from this girl, her back was trembling. After that she regained her smile and said goodbye. She was waving her hands until we could not see each other. I was not alone in NZ. I was a member of a family, a friend, a teacher and now an advisor that people should study abroad.

In 2017 we hosted a number of students from Japan, from a variety of different secondary schools. The girls stayed for varying periods of time, some for just the first term and others for the full year. Thank you to all the homestay host families who have given the girls such a unique Kiwi experience. Their presence in our school is enriching for all of us.

一年間の 留学体験を振り返って

普通科総合コース

2年 藤尾 侑子(紫波第三中学校出身)

Ms. Yuko Fujio



1年前の1月、私は飛行機に乗ってNZに向かった。長時間の空の旅を終えて、着いた時にはもう日付が変わってしまっていた。アドバイザーのマサエさんとOKC事務所に行き、やっと一息つけると思ったのも束の間、「これからホストファミリーに会うよ」と言われ、緊張で一気に鳥肌が立った。しかし彼らに会って、私を歓迎してくれている穏やかな笑顔を見ると、不思議と安心感が湧いてきた。彼らは私が話そうとして時間がかかっても、嫌な顔一つせず最後まで聞いてくれた。後に知り合った日本人の留学生は、本音が言えないような雰囲気があるとあってファミリーを変えていたが私はそんな不満は一切感じなかった。なぜなら彼らの私に対しての接し方から自分を家族の一員だと認めてくれていることが分かっていたからだ。私はホストファミリーだけではなく友人にも恵まれていた。

語学学校も終わり、いよいよ学校に行く日がやってきた。私は語学学校でみんなの前でスピーチをする場面でも完璧に英語を話そうとしてとりあえず頭に浮かんできたカタコト英語を並べて話していた。だから今度こそ完璧にと意気込む気持ちもあったが、語学学校の先生が眉間にしわを寄せながら話を聞いている姿が忘れられずなかなか思い通りにはいかなかった。肌の色か髪の毛が全く違うクラスメイト達が興味を持って話しかけてくれるのに対して私が返す言葉は「Yes」か「No」の二択だった。結局私は授業中も休み時間もずっと同じクラスの日本人の生徒達とばかり会話していた。日本語が分からないクラスメイト達が送る意味ありげな視線もその時は見えていないものにしてた。しかしそんな都合の良い事も長くは続かず、ついに3カ月留学の生徒達が日本へ帰る日が近づいてきていた。私はみんながいなくなる時に初めて、この国で私の言葉を分かってくれる人がいない事に気がついた。毎日授業中に誰かが冗談を言って周りが楽しそうに笑っていても、その笑いの意味を知ることとはなくてただ無理に口角を上げて笑っているフリをする。そうすると私はこのクラスだけではなくこの国から置いてきぼりにされているような気分になった。そんな時、私を気にかけてくれる一人の女の子がいた。その人は毎日会話をするたびに「Are You OK?」と何度も聞いてくるので、「そんなに私がおかしいの?」と怒ってしまった。しかし私の口から出てきたのは言葉と言えるようなものではなかった。私はさらに精神的に参ってしまい、これ以上その子

にひどい事を言ってしまうように少しずつ遠ざかろうとした。しかし後に日本人の生徒から、その子は私がいつもむすっとしていたから顔をうかがっていて、どうすれば笑顔になってくれるかを相談していた事を聞いて、驚きすぎて言葉も出てこなかった。私はもうみんなから仲良くなるのをあきらめられていると思いこんでいたが、あきらめていたのは自分の方だった。その友人は私が英語を話せないから心配して優しくしてくれていたのではなく、私を見ようとしてくれていたのだ。それに今まで気づかなかった事、気づこうとしなかった自分に腹が立った。それと同時に自分の帰る月のカレンダーとにらめっこなんてしていないで、しっかりその子と向き合おうと固く決心した。

それから私は前よりだいぶ積極的に人と向き合うようになった。友達が冗談で「あの先生はあなたのママに似てる?」と聞いてきた時には「私のママはひげは生えていないよ」と冗談で返して笑わせたりしていた。そうしているとだんだん人前で話したりする事が前よりずっと好きになってきた。英語で書かれた本にも目を通すようになった。本といってもまだ小学校の低学年レベルくらいの本だが、新しい単語を覚えてそれを使う事ができた時は自分の英語能力に自信がついてさらに意欲が上がった。

ハロウィンが終わったころ、日本に帰る日が近づいていた。私がクラスに溶け込めるきっかけをくれた友達は「そろそろ両親に会えるね。」と励ましてくれたりしたが、帰ってしまうなんて悲しいと言って寂しげな顔は見えたりはしなかった。しかし私が帰国する前日、最後のハグをする時、その友人の背中がプルプルと震えていた。その友人はきっと今まで涙を見せないようにしていたのだろう。その友人が笑顔を作り直してさよならを言った後、お互いの姿が見えなくなるまで手を振っていた。

私は留学先のホストファミリーや友人・先生・アドバイザーさんに支えてもらったおかげで英語能力だけではなく、色々な年代や国籍の人とコミュニケーションをとる力が上がった。人前で話す時の緊張もスリルとして楽しむようになった。私は将来、国内外のホテルで働きたいと思っているので今回の留学で得た力を無駄なく発揮していこうと思う。

1週間レポート

OKC New Zealand Ltd.

現地校一週間レポート

日付: 2017年2月16日

生徒名: Yuko Fujio	アドバイザー名: Masae Smith
現地校名: St Catherine's College	ホストファミリー名:

■ 一般

1) ニュージーランドの生活に慣れましたか?

慣れました。

2) 体調はどうですか?

良好

3) 貴重品はどこに、どのように管理していますか?

スーツケースに入れ、かぎをかけている。

4) 銀行カード(キャッシュパスポート等)の使い方を理解していますか?(カードを持参している場合)

はい

5) 留學規則を理解していますか? してはいけないことは何ですか?

はい

6) 外泊及び旅行に関する決まりは何ですか?

外泊:	旅行:
-----	-----

■ 学校

7) (語学学校に通った場合)語学学校の英語クラスはどうでしたか?

先生やクラスメイトがとても親切だった。

Auckland Office: Level 2, CTS House, 175 Queen St, POBOX 2630 Auckland
Wellington Office: Level 3, 166 Featherston St, POBOX 1313, Wellington

Tel: +64 9 358 1707 Fax: +64 9 358 1706
Tel: +64 4 499 6187 Fax: +64 4 499 6187

OKC New Zealand Ltd.

■ ホームステイ

15) ホストファミリーとの生活に慣れましたか? また、食事に問題はありますか?

生活: なれた	食事: おいしい
------------	-------------

16) ホストファミリーでどんな手伝いをしていますか? また自分の部屋の整理整頓はできていますか?

手伝い: 猫のえさやり	自室の整理整頓: つかわない物はしまうようにしている
----------------	-------------------------------

17) 朝食、及び学校のランチはどのように準備していますか? (例: 自分で作る、マザーが作ってくれる)

朝食: 自分で用意	ランチ: 自分で用意
--------------	---------------

18) 外出時の決まりは何ですか? また、外出時、帰宅時間が夕食時間、または門限時間より遅くなってしまう場合はどうしますか?

決まり: 帰ってくる時間を知らせる	遅くなる場合: れんらくする
----------------------	-------------------

19) 門限は何時ですか? なぜ門限があるかわかりますか?

門限時間: 日による	門限の理由: ホストファミリーが心配するから
---------------	---------------------------

20) ホストファミリー宅へ友人を招待したい場合はどうしますか?

ことわってから呼ぶ

21) 英語で質問できない場合、また、言われていることが理解できない場合どうしますか?

もう一回はなしてもら

22) ホームステイで問題があった場合、どうしますか?

アドバイザーさんにれんらくする

23) 日本の生活習慣との大きな違いは何ですか?

学校終わりが早い

■ 目標

24) ニュージーランド留学中の目標は何ですか?

英語でのコミュニケーションスキルを上げる

Auckland Office: Level 2, CTS House, 175 Queen St, POBOX 2630 Auckland
Wellington Office: Level 3, 166 Featherston St, POBOX 1313, Wellington

Tel: +64 9 358 1707 Fax: +64 9 358 1706
Tel: +64 4 499 6187 Fax: +64 4 499 6187

OKC New Zealand Ltd.

8) 現地校の雰囲気や印象はどうか? また、日本の学校との違いは何ですか?

雰囲気・印象: みんながフレンドリー	違い: ルールやモラルがありません
-----------------------	----------------------

9) 病気や怪我等で学校を休む場合はどうしますか?

ホストファミリーに言ってれんらくしてもら

10) 遅刻した時、早退したい時はどうしますか?

遅刻: 先生にれんらく	早退: 先生にれんらく
----------------	----------------

11) どのような通学方法ですか? 通学に問題はありますか?

バス。問題なし

12) 運動部・文化部等のクラブに入りましたか? またはその予定ですか? (一何のクラブですか?)

インターナショナル、マンガクラブ、フロアボールクラブ

13) 学校で問題があった場合、相談事がある場合、誰に(または、どこに)行けばよいか理解していますか? (一誰(どこ)ですか?)

たんいんの先生

14) あなたの時間割を記入してください。

	月	火	水	木	金
1	10 RS	10 SS	10 MA	10 RS	10 SS
2	10 EL	10 RS	10 EL	10 SC	10 HT
3	Whanau	Whanau	10 MU	Whanau	Whanau
4	10 EN	10 FN	10 MU	10 PE	10 MA
5	10 SS	10 MA	Whanau	10 MA	10 SC
6	10 MU	10 EL / 10 MU	10 SS	10 EN / 10 EL	10 EN / 10 PE

RS-Religious Studies, EL-ESOL, EN-English, SS-Social Studies, MU-Music, MA-Math, SC-Science, Whanau-homeroom, PE-Physical Education

Auckland Office: Level 2, CTS House, 175 Queen St, POBOX 2630 Auckland
Wellington Office: Level 3, 166 Featherston St, POBOX 1313, Wellington

Tel: +64 9 358 1707 Fax: +64 9 358 1706
Tel: +64 4 499 6187 Fax: +64 4 499 6187

OKC New Zealand Ltd.

25) 目標達成のために、どのようなことをするつもりですか(したらよいと思いますか)?

勇気をもっていろんな人とたくさん話す

26) ご両親はニュージーランド留学に何を望んでいると思いますか?

語学力、生活力

27) 将来の目標は何ですか?

ホテルスタッフ

■ その他

28) NZ滞在現時点まで、楽しいと思ったこと、印象に残ったことは何ですか?

飛行機の景気

29) NZ滞在現時点まで、嫌だと思ったこと、辛いと思ったことは何ですか?

話がなかなか伝わらない

30) 質問や相談したいことはありますか? 又は気がついたことを何でも書いてください。

■ アドバイザーコメント (上記回答・質問・相談事に対する生徒へのアドバイス内容、感想等)

大分 NZ の生活、および学校での生活に慣れてきたようです。学校の制服の購入はホストマザーと一緒にくださるとのことだったので、ずっとお忙しく、まだ出ていないとのことでしたので、留学生担当の先生にお願ひし、来週の月曜日のランチ時間に制服ショップに連れて行っていただくことになりました。旅行・外泊の決まりに関しての欄が無記入でしたので、最低一週間前には私に知らせる必要がある旨、再度確認しました。『勇気をもっていろんな人とたくさん話す』という目標達成に向けて、ぜひ積極的に頑張ってください。

Auckland Office: Level 2, CTS House, 175 Queen St, POBOX 2630 Auckland
Wellington Office: Level 3, 166 Featherston St, POBOX 1313, Wellington

Tel: +64 9 358 1707 Fax: +64 9 358 1706
Tel: +64 4 499 6187 Fax: +64 4 499 6187

Auckland Office: Level 2, CTS House, 175 Queen St, POBOX 2630 Auckland
Wellington Office: Level 3, 166 Featherston St, POBOX 1313, Wellington

Tel: +64 9 358 1707 Fax: +64 9 358 1706
Tel: +64 4 499 6187 Fax: +64 4 499 6187

1 学期定期報告

OKC New Zealand Ltd.

1 学期定期報告書

日付: 2017 年 4 月 20 日

生徒名: Yuko Fujio	アドバイザー名: Masae Smith
現地校名: St Catherine's College	ホストファミリー名: Rutherford

現地校 (留學生担当者) からのコメント
別紙、スクールレポートをご参照ください。

ホストファミリーのコメント
侘子さんは NZ の生活を積極的に満喫しているようです。我が家の猫と NZ フード (特にアイスクリーム) が大好きです。私たちは彼女と日本のホラー映画を一緒に観たり、日本のことをいろいろ彼女から聞いたりすることを楽しんでいます。

侘子さんは外を散歩するのが好きで、私達と一緒にビーチや公園に散歩に行くことを楽しんでいます。

彼女は私達と一緒に乗馬キャンプに行きました。残念ながら天気は良くなかったので少し退屈してしまいましたが、ボニーに何度か乗れましたし、またキャンプの食事も楽しんでいる様子でした。彼女は自分では「シャイ」といいますが、あまり躊躇せずに他人に話しかけることが出来ていました。キャンプが終わる頃にはキャンプに参加している皆が侘子さんのことを知っていたと思います。

彼女の存在は私達にも刺激を与えてくれ、私たちは彼女との生活を楽しんでいます。

生徒のコメント
学校にもホストとの生活もだいぶ慣れました。学校では数学が難しく、応用問題を解くことに苦労をしています。食品学のクラスで PC を持つてくるように言われたので、こちらで購入する予定です。昼休みは友達と一緒にランチを食べ、おしゃべりをします。放課後は家に帰ってから外に散歩に行ったり、家で YouTube を見たりしています。週末もインターネットをやったり、散策に出かけたり、友達と街に行きます。

英語の上達のために努力していることは、学校でクラスの人たちとたくさん話すことです。学校のキャンプはハードなアクティビティもあったけど、新しい友達もできてとても楽しかったです。

これからの目標は、「難しい演説の英語も聞き取れるようになること」で、そのためには日本人の友達とも英語で話すようにするつもりです。

OKC New Zealand Ltd.

アドバイザーのコメント

久しぶりに会った侘子さんはとても元気そうで、たくさんお話をしてくれました。学校のキャンピングは楽しかったようで、新しい友達もできたそうです。

食品学の先生に PC を持参するように言われたことに関して、私から留學生担当の先生に、PC を購入しなくてもよいように図らってもらう旨話したところ、侘子さん自身は PC を購入したいとのこと、すでにお母様からそのためのお金も送ってもらっているとのことでした。PC を購入したい理由は、食品学で必要なこともあるけど、日本語の YouTube や日本の動画を見た、ということだったので (携帯でも見られるけど画面が小さいとのこと)、留学している目的を再認識するよう伝えました。

また、こちらで購入した携帯電話が壊れて使用できなくなった、と言っていたので、確認したところ、クレジットのトップアップがされていなかっただけで、一緒にトップアップをし、また使用できるようになりました。以前もあまり携帯の電源を入れていなかったそうなので、ホストファミリーや私から緊急の連絡が入るかもしれないので、常に電源を入れておくように伝えました。



ホストファミリーと一緒に乗ったウェリントンハーバーのフェリーにて (ホストファミリーが送っていただきました)

Auckland Office: Level 2, CTS House, 175 Queen St, PO BOX 2630 Auckland
Wellington Office: Level 3, 166 Featherston St, PO BOX 1313, Wellington
Tel: +64 9 358 1707 Fax: +64 9 358 1706
Tel: +64 4 499 6187 Fax: +64 4 499 6197

Auckland Office: Level 2, CTS House, 175 Queen St, PO BOX 2630 Auckland
Wellington Office: Level 3, 166 Featherston St, PO BOX 1313, Wellington
Tel: +64 9 358 1707 Fax: +64 9 358 1706
Tel: +64 4 499 6187 Fax: +64 4 499 6197

2 学期定期報告

OKC New Zealand Ltd.

2 学期定期報告書

日付: 2017 年 7 月 18 日

生徒名: Yuko Fujio	アドバイザー名: Masae Smith
現地校名: St Catherine's College	ホストファミリー名:

現地校からのコメント

学級クラス
侘子さんはますます元気に楽しく、とても明るい生徒で、いつも笑顔が見られます。彼女は真面目に学習に取り組み、英語力を徐々に上げています。Miss St Catherine's コンテストで親友彼女の姿を見たことは嬉しく思います。全校生徒の前で立ってパフォーマンスをすることは大変緊張の瞬間です。彼女の言葉で、ダンスを楽しく見ているようです。今学期、彼女はプロポーズの準備をしましたが、2月15日お祝いできず、ワシントン州へお祝いすることになりました。侘子さんはこのクラスで受け持ったこと出来て嬉しく思っています。

English Language (ESOL)
侘子さんは最近英語力を伸ばすことにより興味を持ち始めました。彼女のリスニング力は伸び、指示を理解できるように成長しました。毎日の宿題期間にもっと進歩したければ、もっと英語で話すことに努力をし、授業中に日本語で話すことをやめなければなりません。彼女は簡単な文法を学んで書くことができますが、電子辞書に頼りすぎているために彼女のシンプルな文法は低レベルで満足しています。彼女の読解力レベルの書き方を学んでいますが、目的に取り組みたい結果は、簡単なライティングを学ぶことと進歩していません。彼女の作文は複雑な文章を正確な句読点を用いて書くことで、侘子さんは読んだり書いたりする理解が深まるとは思いますが、もっと難しい英文の特定の詳細を聞き取れることに集中しなければなりません。侘子さんは英語の最初の 2000 語を学んでいます。これは彼女の読解力に大きな進歩です。

英語
侘子さんは明るいクラスのメンバーで、常に口語英語に上達を見せています。彼女の発音はまだ不十分ですが、聴き取りは上手です。常に会話をしようとする彼女の積極性は賞賛されるべきものです。侘子さんは頻りに英語を話しますが、彼女の発音はともないうまくなく、言葉の正確な表現、コントロール、そして正確さには苦労しているようです。彼女はしばしば急いで仕上げようとするので、もう少し落ち着いてしっかりとブランチを立て、自分の書いたものを修正する習慣をつけるようにしなければなりません。ワーキングスタイルの上達は認められるべきです。読解力と書き方の使用により、彼女の理解力は少しずつ向上しています。授業中、他の生徒は彼女を助けてあげたり奇跡的な発音をしたりする行為 (めぐるように言われても) にまだ驚かされています。

数学
侘子さんは英語力の低さから言葉の面で大変苦労していますので、このクラスでの彼女の本当の実力を知らなくてはなりません。数学的な計算はできるものかもしれませんが、適切な指し振りをすることができません。彼女は統計学を学んでいて、平均値、中央値、最頻値のような値を計算することができます。現在はとても簡単な数学的演習に取り組み、宿題を定期的に仕上げようとしています。彼女の他の生徒たちとの交流を楽しんでいるように見え、他の生徒たちも彼女を助ける努力をしています。侘子さんはすでに勉強方法を学んでいますが、クラスでそれなりにハッピーな様子です。

OKC New Zealand Ltd.

2 学期定期報告書

生徒名: Yuko Fujio	アドバイザー名: Masae Smith
現地校名: St Catherine's College	ホストファミリー名:

現地校からのコメント

学級クラス
侘子さんはますます元気に楽しく、とても明るい生徒で、いつも笑顔が見られます。彼女は真面目に学習に取り組み、英語力を徐々に上げています。Miss St Catherine's コンテストで親友彼女の姿を見たことは嬉しく思います。全校生徒の前で立ってパフォーマンスをすることは大変緊張の瞬間です。彼女の言葉で、ダンスを楽しく見ているようです。今学期、彼女はプロポーズの準備をしましたが、2月15日お祝いできず、ワシントン州へお祝いすることになりました。侘子さんはこのクラスで受け持ったこと出来て嬉しく思っています。

English Language (ESOL)
侘子さんは最近英語力を伸ばすことにより興味を持ち始めました。彼女のリスニング力は伸び、指示を理解できるように成長しました。毎日の宿題期間にもっと進歩したければ、もっと英語で話すことに努力をし、授業中に日本語で話すことをやめなければなりません。彼女は簡単な文法を学んで書くことができますが、電子辞書に頼りすぎているために彼女のシンプルな文法は低レベルで満足しています。彼女の読解力レベルの書き方を学んでいますが、目的に取り組みたい結果は、簡単なライティングを学ぶことと進歩していません。彼女の作文は複雑な文章を正確な句読点を用いて書くことで、侘子さんは読んだり書いたりする理解が深まるとは思いますが、もっと難しい英文の特定の詳細を聞き取れることに集中しなければなりません。侘子さんは英語の最初の 2000 語を学んでいます。これは彼女の読解力に大きな進歩です。

英語
侘子さんは明るいクラスのメンバーで、常に口語英語に上達を見せています。彼女の発音はまだ不十分ですが、聴き取りは上手です。常に会話をしようとする彼女の積極性は賞賛されるべきものです。侘子さんは頻りに英語を話しますが、彼女の発音はともないうまくなく、言葉の正確な表現、コントロール、そして正確さには苦労しているようです。彼女はしばしば急いで仕上げようとするので、もう少し落ち着いてしっかりとブランチを立て、自分の書いたものを修正する習慣をつけるようにしなければなりません。ワーキングスタイルの上達は認められるべきです。読解力と書き方の使用により、彼女の理解力は少しずつ向上しています。授業中、他の生徒は彼女を助けてあげたり奇跡的な発音をしたりする行為 (めぐるように言われても) にまだ驚かされています。

数学
侘子さんは英語力の低さから言葉の面で大変苦労していますので、このクラスでの彼女の本当の実力を知らなくてはなりません。数学的な計算はできるものかもしれませんが、適切な指し振りをすることができません。彼女は統計学を学んでいて、平均値、中央値、最頻値のような値を計算することができます。現在はとても簡単な数学的演習に取り組み、宿題を定期的に仕上げようとしています。彼女の他の生徒たちとの交流を楽しんでいるように見え、他の生徒たちも彼女を助ける努力をしています。侘子さんはすでに勉強方法を学んでいますが、クラスでそれなりにハッピーな様子です。

OKC New Zealand Ltd.

2 学期定期報告書

生徒名: Yuko Fujio	アドバイザー名: Masae Smith
現地校名: St Catherine's College	ホストファミリー名:

現地校からのコメント

学級クラス
侘子さんはますます元気に楽しく、とても明るい生徒で、いつも笑顔が見られます。彼女は真面目に学習に取り組み、英語力を徐々に上げています。Miss St Catherine's コンテストで親友彼女の姿を見たことは嬉しく思います。全校生徒の前で立ってパフォーマンスをすることは大変緊張の瞬間です。彼女の言葉で、ダンスを楽しく見ているようです。今学期、彼女はプロポーズの準備をしましたが、2月15日お祝いできず、ワシントン州へお祝いすることになりました。侘子さんはこのクラスで受け持ったこと出来て嬉しく思っています。

English Language (ESOL)
侘子さんは最近英語力を伸ばすことにより興味を持ち始めました。彼女のリスニング力は伸び、指示を理解できるように成長しました。毎日の宿題期間にもっと進歩したければ、もっと英語で話すことに努力をし、授業中に日本語で話すことをやめなければなりません。彼女は簡単な文法を学んで書くことができますが、電子辞書に頼りすぎているために彼女のシンプルな文法は低レベルで満足しています。彼女の読解力レベルの書き方を学んでいますが、目的に取り組みたい結果は、簡単なライティングを学ぶことと進歩していません。彼女の作文は複雑な文章を正確な句読点を用いて書くことで、侘子さんは読んだり書いたりする理解が深まるとは思いますが、もっと難しい英文の特定の詳細を聞き取れることに集中しなければなりません。侘子さんは英語の最初の 2000 語を学んでいます。これは彼女の読解力に大きな進歩です。

英語
侘子さんは明るいクラスのメンバーで、常に口語英語に上達を見せています。彼女の発音はまだ不十分ですが、聴き取りは上手です。常に会話をしようとする彼女の積極性は賞賛されるべきものです。侘子さんは頻りに英語を話しますが、彼女の発音はともないうまくなく、言葉の正確な表現、コントロール、そして正確さには苦労しているようです。彼女はしばしば急いで仕上げようとするので、もう少し落ち着いてしっかりとブランチを立て、自分の書いたものを修正する習慣をつけるようにしなければなりません。ワーキングスタイルの上達は認められるべきです。読解力と書き方の使用により、彼女の理解力は少しずつ向上しています。授業中、他の生徒は彼女を助けてあげたり奇跡的な発音をしたりする行為 (めぐるように言われても) にまだ驚かされています。

数学
侘子さんは英語力の低さから言葉の面で大変苦労していますので、このクラスでの彼女の本当の実力を知らなくてはなりません。数学的な計算はできるものかもしれませんが、適切な指し振りをすることができません。彼女は統計学を学んでいて、平均値、中央値、最頻値のような値を計算することができます。現在はとても簡単な数学的演習に取り組み、宿題を定期的に仕上げようとしています。彼女の他の生徒たちとの交流を楽しんでいるように見え、他の生徒たちも彼女を助ける努力をしています。侘子さんはすでに勉強方法を学んでいますが、クラスでそれなりにハッピーな様子です。

Auckland Office: Level 2, CTS House, 175 Queen St, PO BOX 2630 Auckland
Wellington Office: Level 3, 166 Featherston St, PO BOX 1313, Wellington
Tel: +64 9 358 1707 Fax: +64 9 358 1706
Tel: +64 4 499 6187 Fax: +64 4 499 6197

語学学校 報告書

OKC New Zealand Ltd.

語学学校初日報告書（現地校準備期間）

日付： 2018年 1月 8日

グループ名: 盛岡誠桜高等学校
語学学校名: Elite Management School
記入者名: 松井絢未

学校初日の様子

朝は二人とも、ホストファミリーに送っていただき、時間通りに到着しました。オリエンテーションの前には他の学校から来た生徒たちとも交流し、ランチを一緒に食べていました。ホストファミリーについても得に問題はないそうです。

齋藤さんはあまりよく眠れないとのことなので、詳しく話を聞いてみたいと思います。

上野さんはウエリントンの街に興味があるようで、水曜日に齋藤さんと学校の帰りに市内を探索するとのことで、ホストファミリーに遊びに行くことを伝えてみる、と張り切っていました。（齋藤さんは私の前でホストマザーに伝え、了解を得ていました）

授業は、まだ初日ということもあり、少し恥ずかしがっていたりわからないことが多かったようですが、集中して先生の話を聞いている姿が印象的でした。

また、先生からも、初日にはよかったとのことのお言葉をいただきました。



齋藤玲弥さん（前沢中学校出身） 上野 藍さん（大宮中学校出身）

Auckland Office : Level 2, CTS House, 175 Queen St, POBOX 2630 Auckland
Wellington Office : Level 3, 166 Featherston St, POBOX 1313, Wellington

Tel:+64 9 358 1707 Fax:+64 4 999 6187

OKC New Zealand Ltd.

語学学校最終日報告書（現地校準備期間）

日付： 2017年 1月 26日

グループ名: 盛岡誠桜高等学校
語学学校名: EMS (Elite Management School)
記入者名: 松井絢未

学校最終日の様子

二人とも3週間の語学学校生活は楽しかったと振り返っていました。修了書をもらう際に、うれしそうにしている姿が印象的でした。

3週間の語学学校がおわり、来週から現地校がはじまるということで、緊張とワクワクが入り混じった気持ちとっていました。

二人とも頑張ろうという意欲はすごく伝わってきます。しかし、その一方で、少々シャイな一面があるので、現地校では友達作りなど恥ずかしがらず、積極的に頑張ってもらいたいと思います。

最終日ということもあり、先生や他の生徒と写真などを撮って話している姿が印象的でした。



Auckland Office : Level 2, CTS House, 175 Queen St, POBOX 2630 Auckland
Wellington Office : Level 3, 166 Featherston St, POBOX 1313, Wellington

Tel:+64 9 358 1707 Fax:+64 9 358 1706
Tel:+64 4 999 6187 Fax:+64 4 999 6187

ニュージーランド語学学校



学校名	Making Futures Happen Academy (メイキング・フューチャーズ・ハブ・アカデミー)
住所	Level 4, Grand Central, 76-86 Manners Mall, Wellington
学校のタイプ	私立/ 語学学校
ロケーション	ニュージーランドの首都ウェリントンの市街地に程近い、便利な立地です。ウェリントンハーバーや、ショッピングエリア、市内のいくつかの大学キャンパスも近くにあります。
特色	2003年設立の新しい学校です。大学など高等教育機関との関係が深く、ニュージーランドで大学進学を目指す学生のための IELTS コースなど、アカデミックな英語の指導を熱心におこなっています。ビクトリア大学進学のための英語コースや、最近ではポリテクニクとの提携でビジネスコースも展開しています。
コース	一般英語、進学準備コース、IELTS 準備 など

●OKCスタッフ&
日本人アドバイザー



Mieko Monnaさん Masae Smithさん



St.Catherine's College

【学校名】

St. Catherine's College
(セント・キャサリンズ・カレッジ)

【住所】

Killbrine, Wellington

【学校のタイプ】 カソリック系 私立 女子校

【生徒数】 約245名

【学年層】 Form 3 to 7 (13才~18才)

【制服】 有り

【特徴のある科目】

日本語、現代言語学、ビジネススタディ、マオリ文化、IT、フードテクノロジー、デザイン・テクノロジー、ドラマ、アート、楽器演奏等

【ロケーション】

ニュージーランドの首都ウェリントンは丘陵地帯に広がる坂の多い町。近代的な高層ビルが建ち並び、街行く人々のファッションもどこか洗練された印象をうける。爽やかな風のふく、美しい港町である。セント・キャサリンズ・カレッジはウェリントン市内からバスで10分ほどの、小高い丘の中腹にあり、周辺は静かな落ち着いた住宅地である。近くには綺麗な海岸がある絶好の教育環境にある。

【特色】

小型の学校の部類に入り、親しみやすく、家庭的雰囲気豊かな校風がある。カソリック系の学校のため、「慈悲深く、賢く」をモットーとしている。小クラスで、先生の目の届く、生徒一人一人の個性を尊重したきめ細かい教育、指導が行われている。海外からの生徒の受入に熱心で、留学生のための英語コース、担当教員も準備されている。スポーツや野外学習のカリキュラムが豊富で、特に音楽や文化活動の分野(演劇、楽器演奏、賛美歌、ディベート、ロータリークラブ、マオリ・ポリネシア文化発表など)では伝統を誇っている。



Sacred Heart College, Lower Hutt

【学校名】

Sacred Heart College, Lower Hutt
(セイクレッド・ハート・カレッジ、
ロウワーハット)

【住所】

65 Laings Road LOWER HUTT

【学校のタイプ】

私立 女子校

【生徒数】

約780名

【学年層】

Year 9 to 13 (13才~18才)

【制服】

有り

【特徴のある科目】

日本語

生物学、科学、フランス語、
イタリア語 等

【ロケーション】

ウェリントンより15分ほどの中流以上の家が建ち並び閑静な住宅地に位置している。

【特色】

各生徒の個性を十分に伸ばす事を目的とし、卒業後も社会に充分適応できる女性の育成に努めている。外国からの生徒の教育にも多くの経験を持っている。



St Mary's College

【学校名】

St Mary's College
(セント・メリーズカレッジ)

【住所】

Guilford Terrace, Thorndon, Wellington

【学校のタイプ】 私立 女子校

【生徒数】 約620名

【学年層】 Year 9 to 13 (13才~18才)

【制服】 有り

【特徴のある科目】

フランス語、ドイツ語、日本語、会計学、経済、
統計学、デザインテクノロジー など

【ロケーション】

国会、行政機関が建ち並びウェリントン中心地にほど近い、歴史の古いエリアにあり、伝統と近代的要素の両方を体感することができる。バス・電車どちらからのアクセスも便利である。

【特色】

1850年設立。ウェリントンの中でも屈指の伝統校である。大学進学を目指す生徒が9割という、進学校でもある。生徒が生涯を通じて興味を持てる対象を見つけられるよう、バラエティに富んだカリキュラムを提供している。また何かしらの形で社会に貢献できる人材の育成を目指している。

【施設】

コンピュータールーム、音楽室、美術室、
体育館、オーディオ・ビジュアル室 など





ニュージーランド 留学プログラム

3か月

留学期間

2019年
1月4日(金)~3月31日(日)

1月4日(金) 1月5日(土)

ニュージーランドへ出発→ウエリントン着。オリエンテーション後、各ホームステイ先へ(日曜は、終日ホストファミリーと過ごします)

※現地到着後、現地学校生活等について日本人アドバイザーによるオリエンテーション

1月7日(月)~1月25日(金)

現地校編入準備期間
英語コース(3週間)受講&現地生活オリエンテーション

※語学校にて英語のスキルアップおよびアカデミックスキルを目指します。また、現地生活のオリエンテーションを行います。
※編入準備コース終了後、1月26日(土)に現地校のホームステイ先に移動します。

1月28日(月)~3月29日(金)

現地校の2019年1学期へ編入(約9週間)
※1月28日~2月7日(各現地校により異なる)に現地校に編入し、授業を履修します。
※修了証と成績書は留学終了時ないし日本帰国後に現地校より送付されます。

3月30日(土)

ホストファミリーとお過ごしください。

3月31日(日)

早朝、ウエリントンを出発。
出国手続き後、空路、オークランド経由で成田へ。午後、成田着

6か月

留学期間

2019年
1月4日(金)~7月7日(日)

1月4日(金) 1月5日(土)

ニュージーランドへ出発→ウエリントン着。オリエンテーション後、各ホームステイ先へ(日曜は、終日ホストファミリーと過ごします)

※現地到着後、現地学校生活等について日本人アドバイザーによるオリエンテーション

1月7日(月)~1月25日(金)

現地校編入準備期間
英語コース(3週間)受講&現地生活オリエンテーション

※語学校にて英語のスキルアップおよびアカデミックスキルを目指します。また、現地生活のオリエンテーションを行います。
※編入準備コース終了後、1月26日(土)に現地校のホームステイ先に移動します。

1月28日(月)~4月12日(金)

現地校の2019年1学期へ編入(約11週間)

4月29日(月)~7月5日(金)

現地校の2019年2学期(約10週間)
※1月28日~2月7日(各現地校により異なる)に現地校に編入し、授業を履修します。
※修了証と成績書は留学終了時ないし日本帰国後に現地校より送付されます。

7月6日(土)

ホストファミリーとお過ごしください。

7月7日(日)

早朝、ウエリントンを出発。
出国手続き後、空路、オークランド経由で成田へ。午後、成田着

1年間

留学期間

2019年
1月4日(金)~11月10日(日)

1月4日(金) 1月5日(土)

ニュージーランドへ出発→ウエリントン着。オリエンテーション後、各ホームステイ先へ(日曜は、終日ホストファミリーと過ごします)

※現地到着後、現地学校生活等について日本人アドバイザーによるオリエンテーション

1月7日(月)~1月25日(金)

現地校編入準備期間
英語コース(3週間)受講&現地生活オリエンテーション

※語学校にて英語のスキルアップおよびアカデミックスキルを目指します。また、現地生活のオリエンテーションを行います。
※編入準備コース終了後、1月26日(土)に現地校のホームステイ先に移動します。

1月28日(月)~4月12日(金)

現地校の2019年1学期へ編入(約11週間)

4月29日(月)~7月5日(金)

現地校の2019年2学期(約10週間)

7月22日(月)~9月27日(金)

現地校の2019年3学期(約10週間)

10月14日(月)~11月8日(金)

現地校の2019年4学期(約4週間)
※1月28日~2月7日(各現地校により異なる)に現地校に編入し、授業を履修します。
※ニュージーランドの第4学期 終了は12月13日ですが、1年間留学は11月8日までとなります。
※修了証と成績書は留学終了時ないし日本帰国後に現地校より送付されます。

11月9日(土)

ホストファミリーとお過ごしください。

11月10日(日)

早朝、ウエリントンを出発。
出国手続き後、空路、オークランド経由で成田へ。午後、成田着

ニュージーランド 留学プログラム 出発までの スケジュール

2018年4～6月

《生徒及び保護者向け留学主旨説明会》

- ◆留学主旨の説明
- ◆概算留学費用のご案内
- ◆留学プログラム実施要項の配布
- ◆現地受入候補校の概要説明
- ◆デポジットに関して
- ◆旅行お伺い書の配布
- ◆出発までの今後のスケジュールの説明

プログラムの内容説明だけでなく、参加するための条件や資格などの説明が大変重要となります。この説明会には参加生徒及び保護者の全員参加が必須条件となります。

参加者：生徒、保護者、担当先生、JTB担当者、OKC担当者

7月下旬

《留学参加生徒の仮決定》

- ◆留学申込書の提出

現地校の「留学生枠」である学籍を確保するために必要となります。9月以前のキャンセルの場合は全額ご返金となります。

8～9月

《留学参加生徒・保護者向け説明会1》

- ◆参加生徒に留学規則、誓約書・同意書の配布
- ◆パスポート取得手続き開始
- ◆現地校&ホームステイアプリケーションフォームの配布
- ◆海外旅行傷害保険、外貨、旅行用品など
- ◆現地銀行口座開設について
- ◆学生ビザ申請に関するご案内

《保護者および生徒に対する個別面談会》

- ◆生徒および保護者に留学主旨に関する最終確認と適正判断の実施

- ◆現地校&ホームステイアプリケーションフォーム (提出期限：9月下旬まで)

- ◆学生ビザ申請書類 (提出期限：11月上旬まで)

個別面談会で種子確認や適正判断を行います。

参加者：生徒、保護者、担当先生、JTB担当者、OKC担当者

10月・11月

《生徒対象留学成功の為の事前研修》

- ①ニュージーランド概要
- ②現地校生活
- ③異文化コミュニケーションワークショップ
- ④ホームステイレクチャー
- ⑤ケーススタディ・ワークショップ

平日の放課後などに、計2日間予定

参加者：生徒、担当先生、OKC担当者

10月中旬

《留学費用残金お支払い》

- ◆JTBより請求書を各家庭に発送。留学費用全額からデポジット、一時金を差し引き、外貨などの追加請求分を相殺した請求書をお送りいたします。

留学費用が正式確定。入学許可証と領収証が現地校より送られてまいります。

12月下旬

《留学参加生徒・保護者向け説明会2》

- ◆出発当日の集合、留学全体スケジュール
- ◆留学生活に関する諸注意、必要事項説明
- ◆トラブル発生時の対応と手順について
- ◆日本人アドバイザー、緊急連絡先のご案内
- ◆ホームステイ先のご案内

《渡航関係説明》

- ◆出発空港集合について
- ◆外貨、海外旅行傷害保険証書の配布など

最終説明会も参加生徒及び保護者の全員参加が必須条件となります。トラブル発生時の対応と手順について学校担当者、保護者、参加生徒、JTB、OKC等の関係者全員が理解し、確認を行い留学成功のための最終説明を行います。

参加者：生徒、保護者、担当先生、JTB担当者、OKC担当者

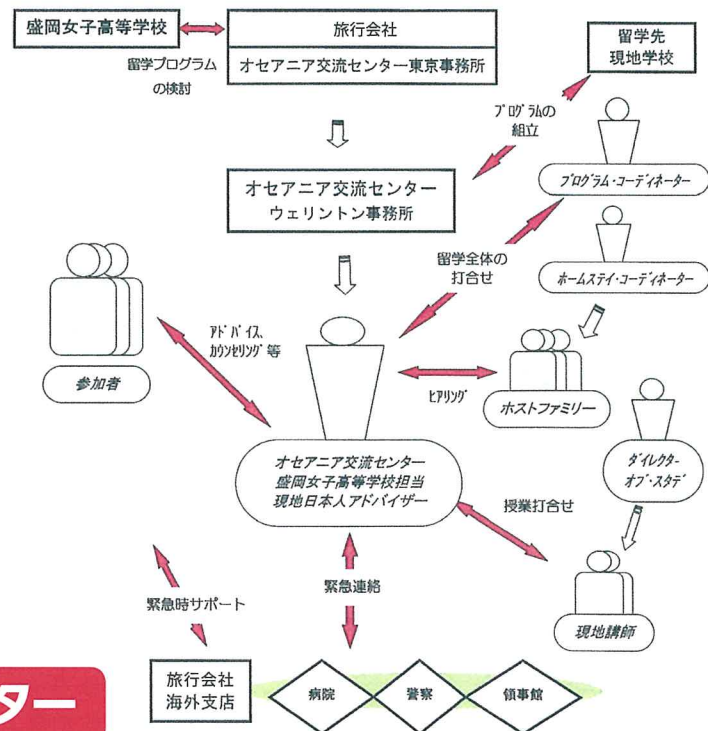
2019年1月

ニュージーランドへ向け出発

旅行会社と オセアニア 交流センターの 充実した サポート体制

- 留学業界で初!
- オーストラリア政府より
ビジネスアワード受賞!
- 実績と信頼 No.1!

OKCオセアニア交流センター





イギリス ロンドン 海外研修



期間
2019年
1月5日(土)~1月14日(月)

日時	月日	地名	現地時間	交通機関	日程	食事
1	5日(土)	盛岡駅発	13:50	JR	はやぶさ20号	朝食：× 昼食：× 夕食：ホテル
		東京駅着	16:04			
		東京駅発	17:03	JR	成田エクスプレス43号	
		成田空港着	17:57		成田空港第1ターミナルへ到着 (翌日の集合場所確認)	
		成田空港発	18:15	シャトルバス	シャトルバスにてホテルへ	
		ホテル着	18:30		※夕食はレストラン	【ホテル泊】
2	6日(日)	ホテル発	8:35	シャトルバス	シャトルバスにて成田空港へ	朝食：ホテル 昼食：機内食 夕食：機内食 各自
		成田空港着	9:00		第1ターミナル着	
		成田空港発	11:55	NH6353	出国手続き後、全日空にてロンドンヒースロー空港へ	
		ロンドン空港着	15:30		着後、入国手続き空港よりホテルへ移動 (LSIスタッフ同行)	
		ロンドン発	17:30頃	専用バス		
3	7日(月)	ホテル	8:00	専用車	朝、ホテルから専用車にて学校へ (LSIスタッフ同行) LSIロンドン・ハムステッド校にてオリエンテーション 9:00~15:30 (盛岡誠桜高等学校だけのクラス)	朝食：ホテル 昼食：学校 夕食：ホームステイ
		ロンドン滞在	17:00	専用車	語学研修後、ホストファミリーまで送迎	
4	8日(火)	ロンドン滞在	終日		語学研修 9:00~15:30 (盛岡誠桜高等学校だけのクラス) ※通学は各自	朝食：ホームステイ 昼食：学校 夕食：ホームステイ
5	9日(水)	ロンドン滞在	終日		語学研修 9:00~15:30 (盛岡誠桜高等学校だけのクラス) ※通学は各自	朝食：ホームステイ 昼食：学校 夕食：ホームステイ
6	10日(木)	ロンドン滞在	午前		語学研修 9:00~12:00 (盛岡誠桜高等学校だけのクラス)	朝食：ホームステイ 昼食：学校 夕食：ホームステイ
			午後	地下鉄	現地高校の訪問予定 (14:00~15:00)	
7	11日(金)	ロンドン滞在	終日	地下鉄 電車利用	電車にて、オックスフォード研修 (9:00~16:00) (LSIスタッフ同行) マートン・カレッジ・プレナム宮殿等見学	朝食：ホームステイ 昼食：各自 夕食：ホームステイ
8	12日(土)	ロンドン滞在	終日	地下鉄	ロンドン市内研修 (9:00~16:00) (LSIスタッフ同行) ロンドン塔・大英博物館・バッキンガム宮殿・ピカデリー・サーカス等	朝食：ホームステイ 昼食：各自 夕食：ホームステイ
9	13日(日)	ホームステイ発	9:00	専用車	各ホームステイ先からヒースロー空港へ	朝食：ホームステイ 昼食：各自 夕食：機内食
		ロンドン発	12:20	NH6354	出国手続き後、全日空にて成田空港へ	
10	14日(月)	成田空港着	9:15		成田空港第1ターミナルへ到着	朝食：機内食 昼食：各自
		成田空港発	11:14	JR	成田エクスプレス18号	
		東京駅着	12:14			
		東京駅発	13:20	JR	はやぶさ21号にて盛岡へ	
		盛岡駅着	15:33		無事到着、お疲れさまでした	

■利用予定空港会社：全日空(NH)

■宿泊施設：全員ホームステイ 1家族2名様予定

※この日程は平成30年2月現在のものです。運輸機関のダイヤ改正、各地の道路状況により、多少行程が変更になる場合がございます。

※お客様の安全の為、バス走行中は常にシートベルトの着用をお願いします。



Morioka Seio High School

1-21-14 Takamatsu, Morioka City,
Iwate Prefecture, Japan 020-0114

Tel 019-661-3633

Fax 019-663-0819

E-mail www.morioka-seio.ed.jp/info

Morioka
The Capital City
of Iwate

Iwate
Prefecture

Tokyo

Iwate and Morioka in Japan